

米国小型株サステナブルグロース・ファンド

追加型投信／海外／株式

投資者の皆さまへ

販売用資料：2019年11月

愛称：ダイヤの原石

SUSTAINABLE GROWTH FUND

ビジネスのクオリティに着目
徹底したリサーチで企業を厳選

米国小型株サステナブル グロース・ファンド

米国小型成長株運用（過去10年間）
で最上位の実績を出している米国の
運用会社が運用を行います。

（2019年8月末時点）

目論見書のご請求・お申込みは…



〈販売会社〉

商号等 東海東京証券株式会社
金融商品取引業者 東海財務局長（金商）第140号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は…



〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

※お申込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、
商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更します。

世界株を大幅に上回る
圧倒的な成長を実現してきた

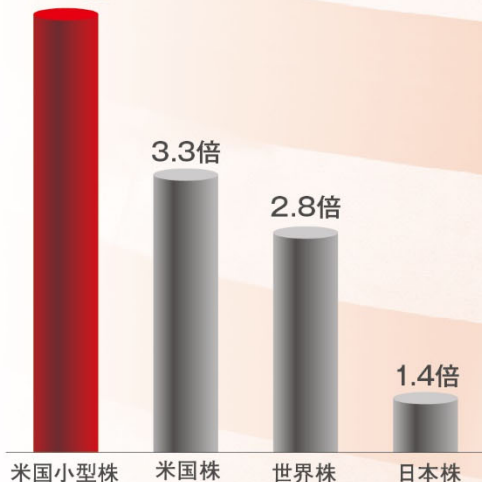
米国小型株



米国小型株の上昇率(20年間)

4.6倍

(1999年8月末～2019年8月末)



米国小型成長株運用で
最上位の成績を誇る

(2019年8月末時点)

ケイン・アンダーソン・ラドニック社の

運用力



同社が運用する類似戦略
の米国籍ファンドは
評価機関から最高位の
評価である

5つ星を獲得

©2019 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

※2019年8月末時点の米国小型成長株カテゴリーにおける総合的なMorningstarレーティング※各ファンドの総合的なMorningstarレーティングは、3年、5年、および10年のMorningstarレーティングの加重平均から導き出されます。Morningstarレーティングは過去の運用実績に基づいた評価であり、将来の運用成果を保証するものではありません。※21ページの「Morningstarレーティングに関する注意事項」をご確認ください。

競合他社比較によるリターン順位

(2019年8月末時点)

期間	類似戦略の順位	比較対象 ファンドの本数
過去 3年間:	第1位	571本中
過去 5年間:	第1位	511本中
過去 10年間:	第1位	394本中

※類似戦略ファンド「Virtus KAR Small-Cap Growth Fund I」の期間別リターンは米国小型成長株カテゴリー内順位

※それぞれのファンドは運用方針などの商品性が異なるため、上記はあくまでご参考であることにご留意ください。

下落相場でも高い抵抗力を発揮

【参考指数が下落した月の平均下落率】

参考指数 類似戦略 (2016年8月末～2019年8月末)

-5.0%

-1.7%

下落追従率[※]
33%

長期的な
パフォーマンス
獲得に貢献

参考指数の**下落**に対し、類似戦略は**抵抗**

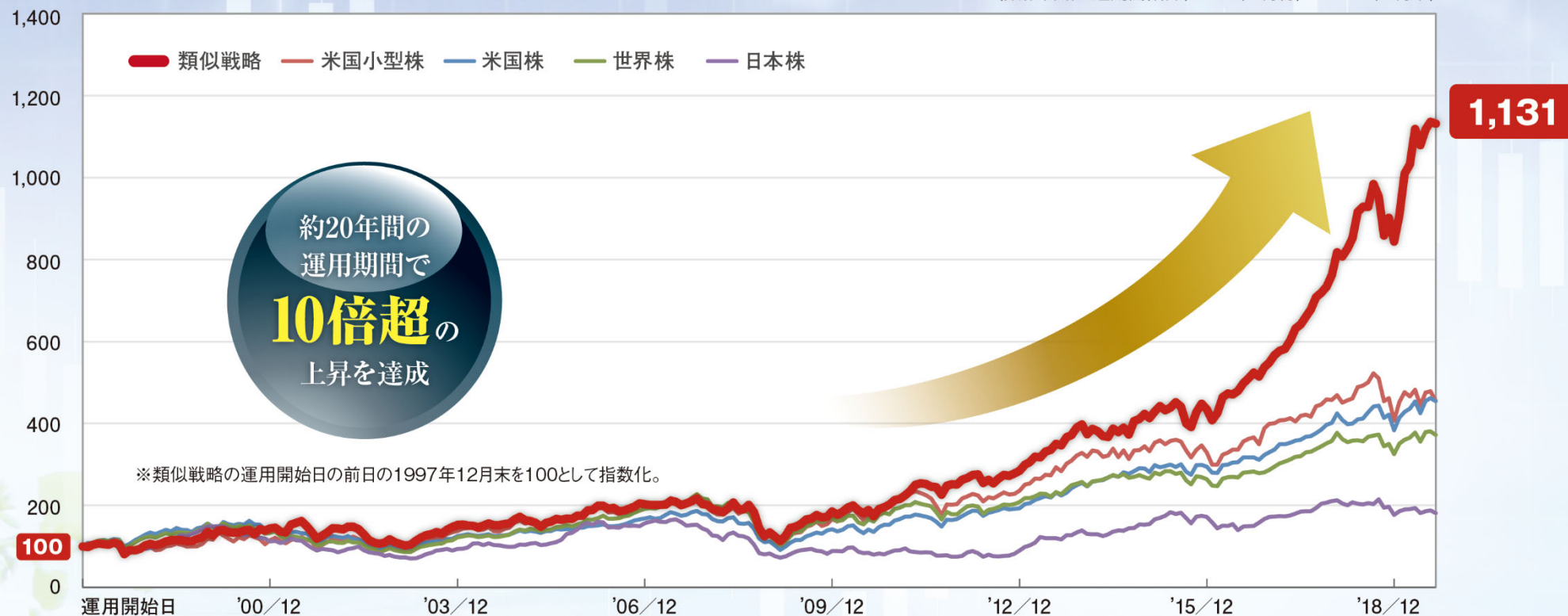
※下落追従率とは、類似戦略の下落率を参考指数の下落率で除した値です。



～米国小型株を大幅に上回るパフォーマンスを実現～

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス実績

(類似戦略の運用開始日(1998年1月初)～2019年8月末)



※類似戦略は費用控除前のパフォーマンス。

※指数については、21ページの「当資料で使用した指数について」をご覧ください。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベスト・マネジメント、ブルームバーグ

同一戦略で運用を行なう「日本初」※のファンド

米国小型株サステナブルグロース・ファンド

残高急増により同一戦略で運用する米国籍のファンドは新規投資家からの購入受付を停止しています。

※ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが実質的に運用を行なう、日本で初めて設定された公募投資信託となります。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。 ※21ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

ケイン・アンダーソン・ラドニック社の

投資哲学

INVESTMENT PHILOSOPHY

高い競争優位性を有する

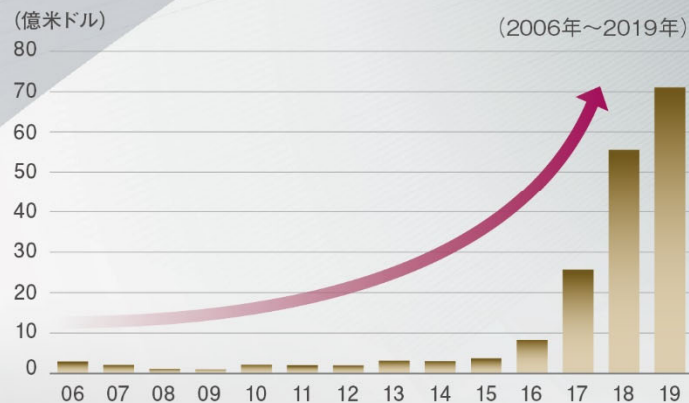
ハイクオリティ・ビジネス企業に

割安な株価で投資することで、
市場を超えるパフォーマンスを獲得できる。

ハイクオリティ・ビジネス企業とは

高い利益率を長期にわたり維持でき**持続的な利益成長**
(サステナブルグロース)が期待できる事業を有する企
業のことをさします。

当ファンドの類似戦略の資産運用残高の推移



※2019年は6月末までの実績値 (出所)ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

日本の投資家の皆さまへ

この度、日本の投資家の皆さまに私たちの運用戦略を
提供できることに、深く感謝しています。私たちが厳選して
投資を行なう、高品質な企業ポートフォリオが持続的な皆
さまの資産形成の一助になることを確信しています。

私たちは、クオリティの高いビジネスを行なう企業に厳
選して投資することが、長期的に高いリターンを生み出す
という哲学の下、運用しています。

ハイクオリティ・ビジネス企業は、高い競争優位性を有
し、持続的に高い利益を生み出しています。
私たちはこうした企業を長年にわたり発掘してきた実績が
あり、これからも継続して実践していきます。



Todd Bailey

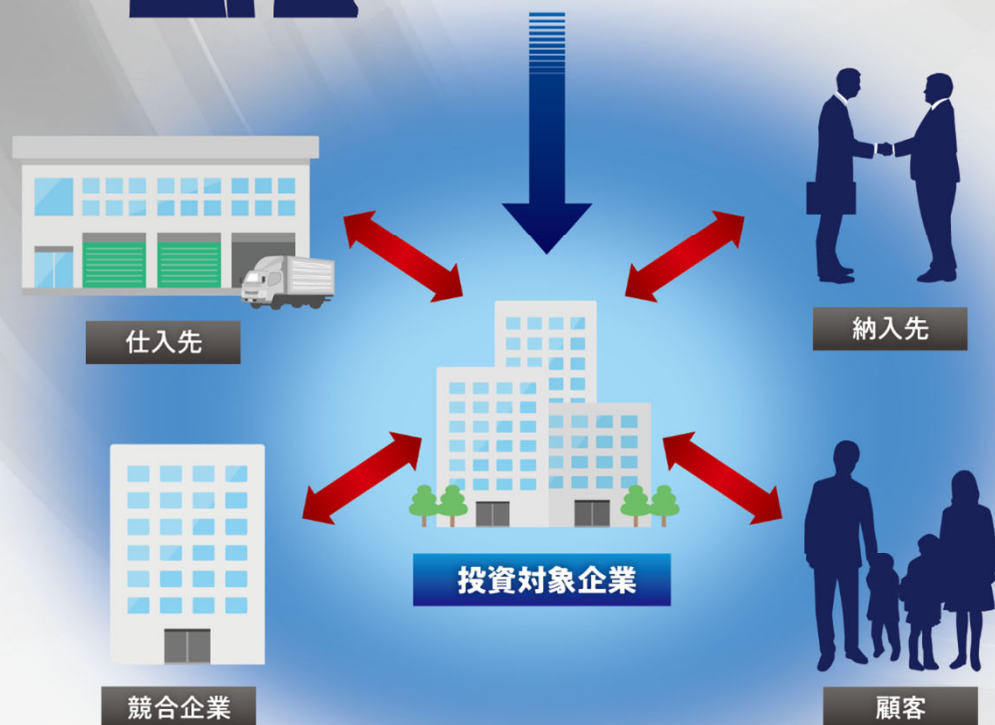
運用担当者兼
シニアリサーチ・アナリスト

“ビジネス・アナリストの視点で、そのビジネスが 高い利益率を長期にわたり持続できるか見極める”

● 「ビジネス・アナリスト」の視点で銘柄を調査 ●



投資対象の企業だけでなく顧客やサプライヤー、
競合他社など企業を取り巻く関係者も調査



● ハイクオリティ・ビジネス企業を見極める5つの視点 ●



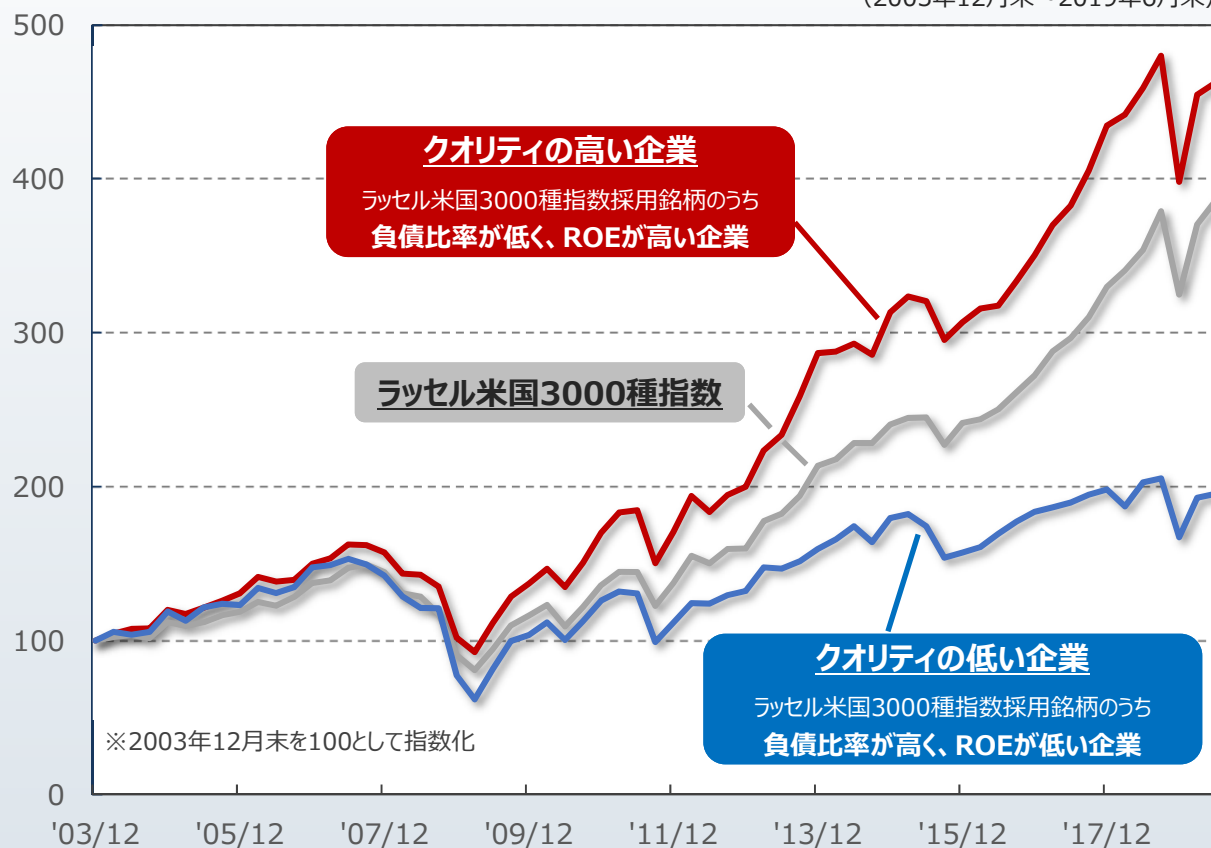
ハイクオリティ・ビジネス企業に投資する意義



- ◆ 当ファンドの類似戦略では、高い利益率を長期にわたり維持して、持続的に利益成長が期待できるビジネスを行なう企業、すなわち“**ハイクオリティ・ビジネス企業**”を選定し投資を行ないます。
- ◆ 高い利益率を有するクオリティの高い企業のパフォーマンスは、米国株を広くカバーするラッセル米国3000種指数を長期的に上回ってきました。

クオリティの高い企業への投資シミュレーション

(2003年12月末～2019年6月末)



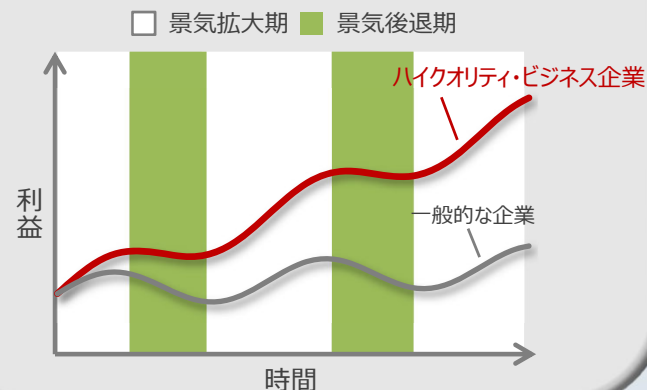
着眼点

負債に頼らず利益率の高いビジネスを行なっている企業のパフォーマンスは優れている。

(ご参考) ハイクオリティ・ビジネス企業の特徴

ハイクオリティ・ビジネス企業は
企業固有の高い競争力により景気循環による影響を受けづらく、
安定した利益成長が継続する傾向にあります。

【ハイクオリティ・ビジネス企業の利益成長のイメージ図】



※クオリティの高い企業はラッセル米国3000種指数採用銘柄の中から四半期毎のリバランス時にROEが15%以上かつ総資産に対する負債比率が30%未満（クオリティの低い企業はROEが15%未満かつ総資産に対する負債比率が30%以上）の企業を選出し、投資した場合のシミュレーション。

※上記はケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが定量的な銘柄スクリーニングにより運用を行った場合のシミュレーション結果を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント、ブルームバーグ

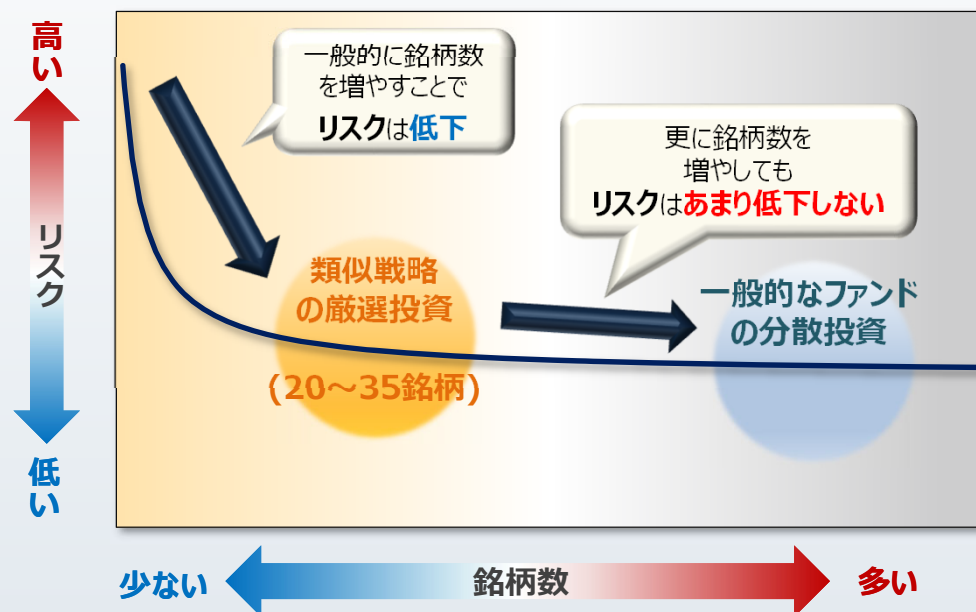
確信度の高い銘柄への厳選投資



- ◆ 当ファンドの類似戦略では、分散投資の効果を考慮しつつ、徹底した調査を基に、十分に理解を深めた銘柄に厳選投資を行なうことで、ポートフォリオにおける想定外の要因による価格下落リスク（不確実性）を抑制すると同時に高いパフォーマンスを享受するよう努めています。

確信度の高い銘柄に厳選投資する理由

理由①：銘柄数を多くしてもリスク抑制効果は限定的



理由②：徹底的に調査した銘柄に投資するほうが不確実性は小さい



※上記はケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントの考えに基づくイメージです。

確信度の高いハイクオリティ・ビジネス企業への厳選投資で、銘柄固有リスクの抑制を図りつつ、優れたパフォーマンスを追求します。

（出所）ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

米国小型株投資の魅力①



- ◆ 米国小型株は過去20年間に於いて世界株や、日本株を上回るパフォーマンスを示してきました。
- ◆ 米国小型株は、大型株に比べて一株当たりの売上高および利益の堅調な成長が予想されています。

米国小型株指数のパフォーマンス

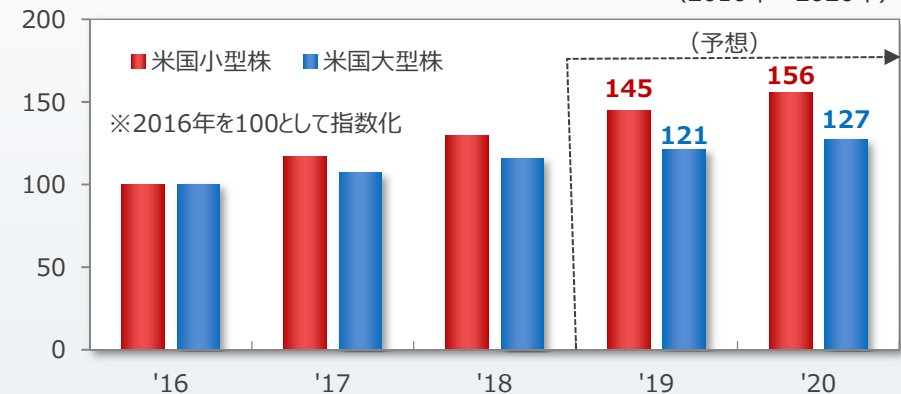
(1999年8月末～2019年8月末)



※指数については、21ページの「当資料で使用した指数について」をご覧ください。

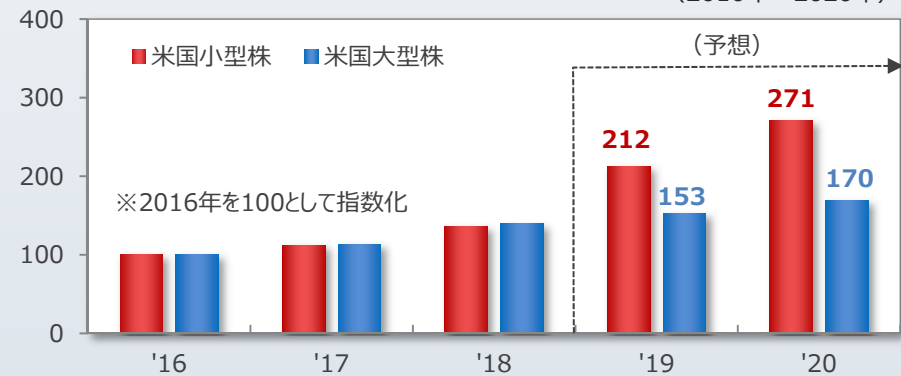
一株当たり売上高の推移

(2016年～2020年)



一株当たり利益 (EPS) の推移

(2016年～2020年)



※2019年以降の一株当たり売上高と利益は2019年9月時点のブルームバーグの予想値

(出所) ブルームバーグ

米国小型株投資の魅力②

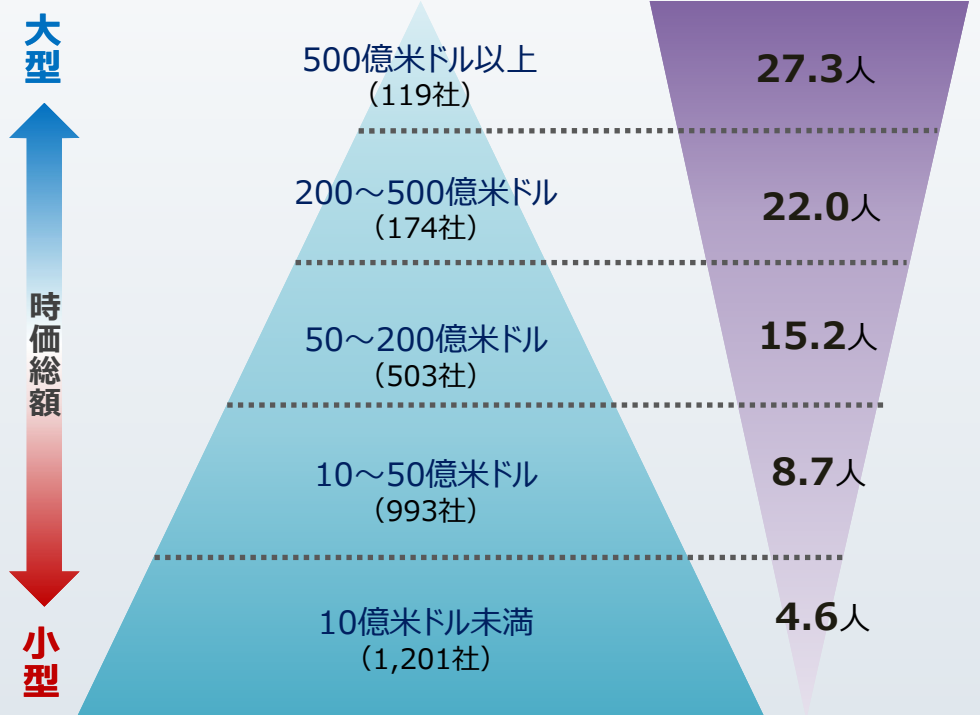


- ◆ 米国小型株は大型株と比べて担当アナリストの数が少ない傾向にあるため、企業の成長性等が株価に反映されていないことが多く、運用者の銘柄発掘により、収益獲得の大きな機会が存在します。
- ◆ 米国小型株には、この10年間に大きく株価が上昇した銘柄が多数存在しています。

米国企業一社当たりの平均担当アナリスト数（時価総額別）

（2019年8月末時点）

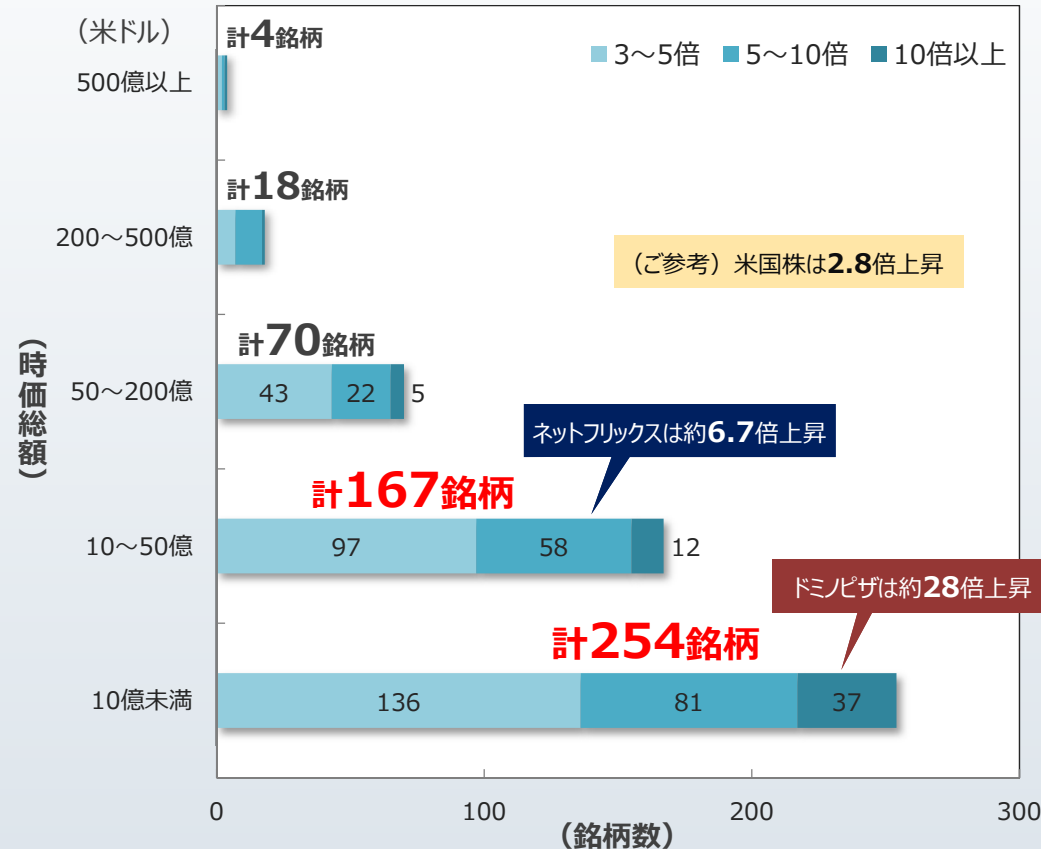
一社当たりの平均担当アナリスト数



※上記はラッセル米国3000種指数の構成銘柄を時価総額別に区分したもの

株価が3倍以上となった銘柄数（時価総額別、10年間）

（計測期間：2009年8月末～2019年8月末）



※2009年8月末時点におけるラッセル米国3000種指数採用銘柄の時価総額を基に区分し、10年間のリターンを計測。

※データが取得可能な銘柄のうち3倍以上の上昇を達成した銘柄のみ集計。

（出所）ブルームバーグ

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス実績



- ◆ 当ファンドの類似戦略は、1998年の設定から20年超の運用実績を有しており、その期間において参考指数を大きく上回るパフォーマンスを達成してきました。

類似戦略のパフォーマンス推移

(類似戦略の運用開始日(1998年1月初)～2019年8月末)



期間別騰落率(年率換算)

	1年	3年	5年	10年	運用開始来
類似戦略	+14.9%	+30.4%	+23.7%	+21.0%	+11.9%
参考指数	-11.0%	+10.6%	+8.1%	+13.1%	+6.5%
超過リターン	+25.9%	+19.8%	+15.7%	+7.9%	+5.4%

※類似戦略のパフォーマンスは、費用控除前。※参考指数はラッセル2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

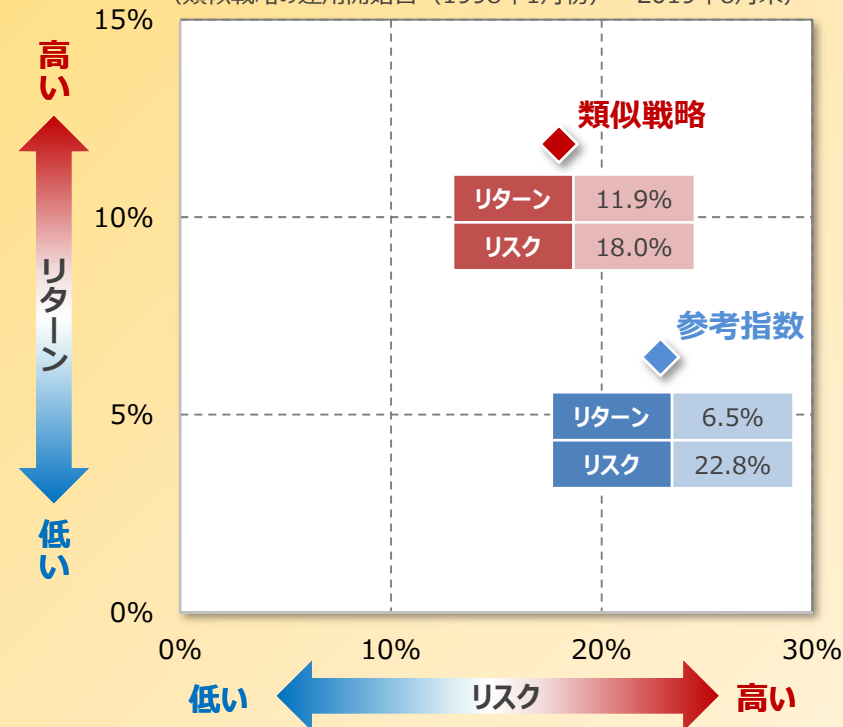
※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

注 目のポイント

【リスク・リターン特性】

(類似戦略の運用開始日(1998年1月初)～2019年8月末)



※リスク、リターンはそれぞれ年率換算。

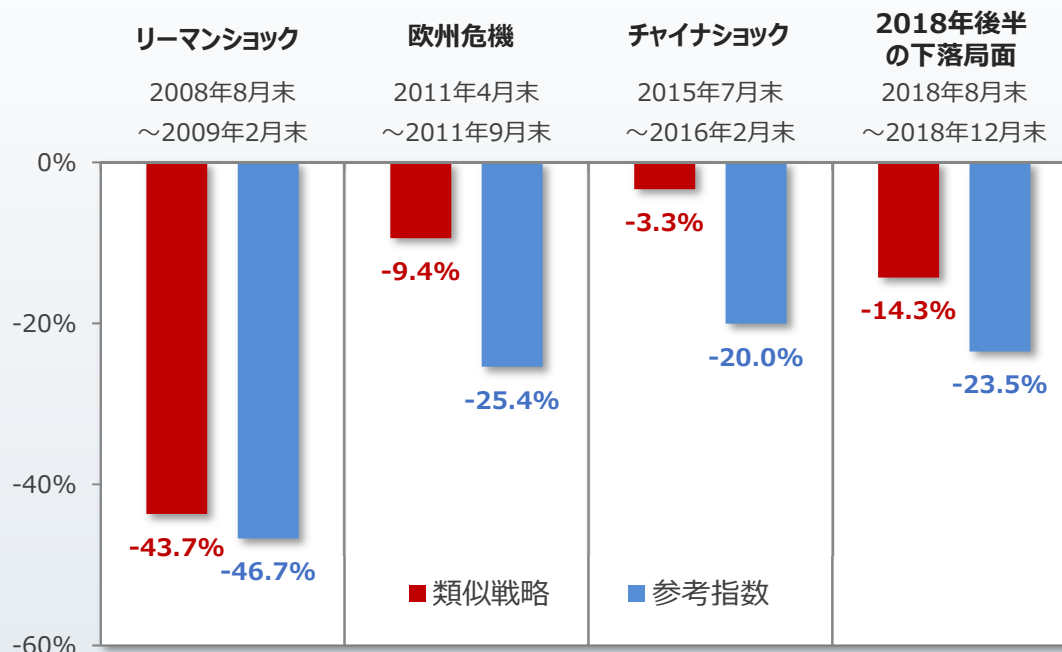
(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント、ブルームバーグ

当ファンドの類似戦略のパフォーマンス特性



- ◆ 当ファンドの類似戦略は、過去に大きく相場が下落した局面においても、高い抵抗力を発揮してきました。
- ◆ このように過去の運用実績に見られる“下落相場での強さ”は、長期的に良好なパフォーマンスを得るのに重要な特性です。

下落局面におけるパフォーマンス比較



局面別騰落率

	リーマンショック	欧州危機	チャイナショック	2018年後半の下落局面
類似戦略	-43.7%	-9.4%	-3.3%	-14.3%
参考指数	-46.7%	-25.4%	-20.0%	-23.5%
超過リターン	+3.0%	+16.0%	+16.7%	+9.2%

※類似戦略のパフォーマンスは、費用控除前。※参考指数はラッセル2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

注 目のポイント

【参考指数が下落した月の平均下落率】

(2019年8月末)

期間	過去3年間	過去5年間	過去10年間
平均下落率	↓ -1.7% ↓ -5.0%	↓ -2.1% ↓ -4.8%	↓ -3.2% ↓ -5.4%
	→ 類似戦略 → 参考指数		
下落追随率	33%	44%	60%

※下落追随率は、類似戦略の下落率を参考指数の下落率で除した値。

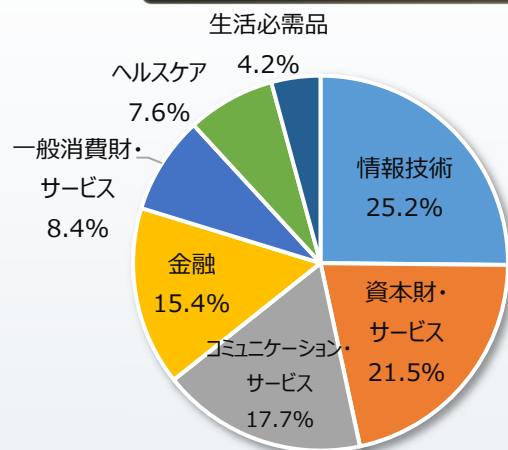
(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント、ブルームバーグ

当ファンドの類似戦略のポートフォリオ



基準日：2019年8月末時点

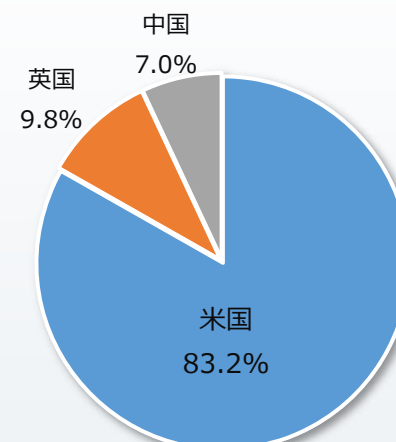
業種別構成



上場取引所別構成



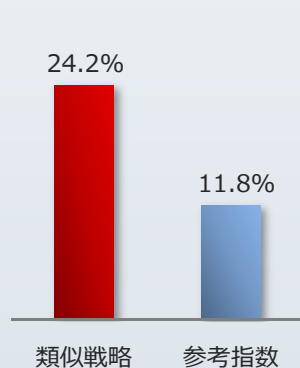
国別構成



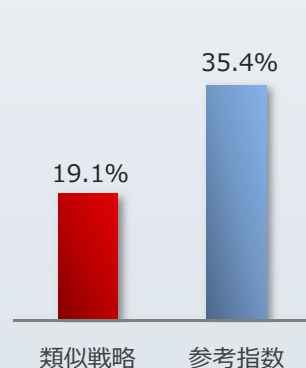
※業種は世界産業分類基準（GICS）によるものです。※国別構成は企業の本籍地を基に分類しています。※四捨五入の関係で比率の合計が100%にならない場合があります。

ポートフォリオ特性値

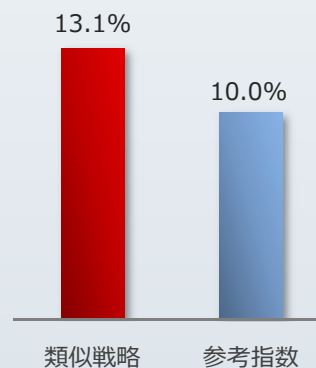
【ROE（自己資本利益率）】



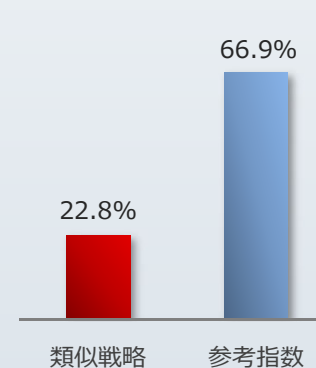
【総資産に対する負債比率】



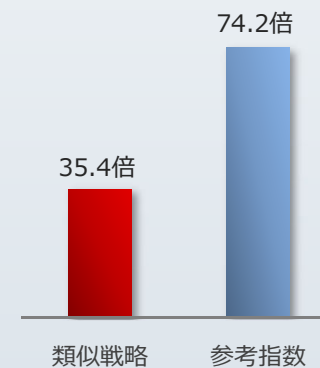
【利益の成長率】



【利益の変動率】



【PER（株価収益率）】



※ROEは過去5年間の平均値※利益の成長率と変動率は過去10年間のEPS（一株当たり利益）のデータを基に算出しています。※PERの値は過去12か月のデータを基に算出しています。

※参考指数はラッセル2000成長株指数を使用しています。同指数は当ファンドのベンチマークではありません。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

（出所）ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

当ファンドの類似戦略の組入上位10銘柄



基準日：2019年8月末時点

銘柄名	セクター/ティッカー	組入比率	概要
Autohome Inc オートホーム	コミュニケーション・サービス ATHM	7.0%	中国で自動車売買ウェブサイトを運営。同サイトは専門家やユーザー自身の評価が掲載され、中国の自動車関連情報の中でも、最も利用されているサイトであるため、信頼のおける口コミが多数閲覧できる。そのために益々多くのユーザーを惹きつけるという好循環を築いています。
Fox Factory Holding Corp フォックス・ファクトリー・ホールディング	一般消費財・サービス FOXF	6.3%	主にマウンテンバイク、オフロード車両、トラック、オートバイに使用される高性能なサスペンションを設計・製造しています。著名なレーサーとのスポンサー契約を行ない、高性能で洗練されているといったブランドイメージを構築しており、多くのハイエンド嗜好のユーザーを獲得。この結果、高い収益性を実現しています。
Paycom Software Inc ペイコム・ソフトウェア	情報技術 PAYC	6.1%	法人向けクラウドベース人材給与管理ソフトウェアのリーディングカンパニー。機密情報である人事関連情報を第三者のシステムを介さず自社システム内で管理可能とすることで、他社との差別化を図り、多くの法人ユーザーとの長期契約を獲得しています。
Auto Trader Group PLC オート・トレーダー・グループ	コミュニケーション・サービス ATDRY	5.4%	英国のオンライン自動車売買サイトの最大手。中古車が大半ながら、近年は新車取扱いも急増中。同社サイトは、業界2位と比較して閲覧者（買手）で4倍、掲載車数（売手/在庫）は2倍の規模と圧倒的なシェアを獲得しており、それが参加者をさらに増やす好循環に繋がっています。
Copart Inc コパート	資本財・サービス CPRT	4.9%	インターネット・オークション形式で、中古車の廃車処理・販売サービスを提供する最大手。上位2社で市場占有率が80%以上の寡占市場。競合相手と比べて取引の100%がオンラインで行なわれる点が効率面で強みがあり、さらに利用者の増加と保管スペースの集中化により競争優位性が引き続き強化されています。
Aspen Technology Inc アспен・テクノロジー	情報技術 AZPN	4.8%	化学、エンジニアリング、建設、エネルギー市場をターゲットとした、プロセス最適化ソフトウェアの業界リーダー。同社のソフトは企業の業務効率化を通じた収益性向上に役立っており、前回の景気後退局面でも契約額が伸びているなど、成長性が期待できます。
Rightmove PLC ライトムーブ	コミュニケーション・サービス RTMVY	4.4%	英国最大級の住居用不動産ウェブサイトを運営。英国の住宅価格の変化を掲載する情報誌を出版しており、住宅購入者の購買行動を変えたことで、強力なネットワーク効果を確立しました。これにより同社は強力な価格決定力と利益拡大の機会を獲得しています。
Old Dominion Freight Line Inc オールド・ドミニオン・フレイト・ライン	資本財・サービス ODFL	4.3%	業界第2位の小型一般貨物輸送業者。米国全域で消費者製品や繊維製品、資本財などの比較的小型の貨物輸送の事業を展開し、約10%の市場シェアを獲得。綿密なネットワークと運営を強みとして業界でも優れた定刻配達実績と低クレーム率を誇るなど、ハイクオリティなサービス提供を可能としています。
AAON Inc エーオン	資本財・サービス AAON	3.8%	空調設備機器メーカー。屋上空調機器、冷凍機、ヒートポンプ機器(室内温度調整)などの冷暖房ユニットを製造・販売。同社の強みは、競合相手が標準物のみに対して、セミカスタマイズの空調機を製造するプロセスを開発したことで、地域や顧客にあわせた高品質の商品を提供できる点にあります。
HEICO Corp ヘイコ	資本財・サービス HEI.A	3.8%	米連邦航空局承認のジェットエンジン交換部品で世界最大のメーカー。大半の主要航空会社との取引実績があり、他社ブランドの製品製作も請け負っています。他社と比較して生産コストが低いため、高い競争力を有しています。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

ハイクオリティ・ビジネス企業のご紹介①



フォックス・ファクトリー・ホールディング

業種：一般消費財・サービス

企業概要

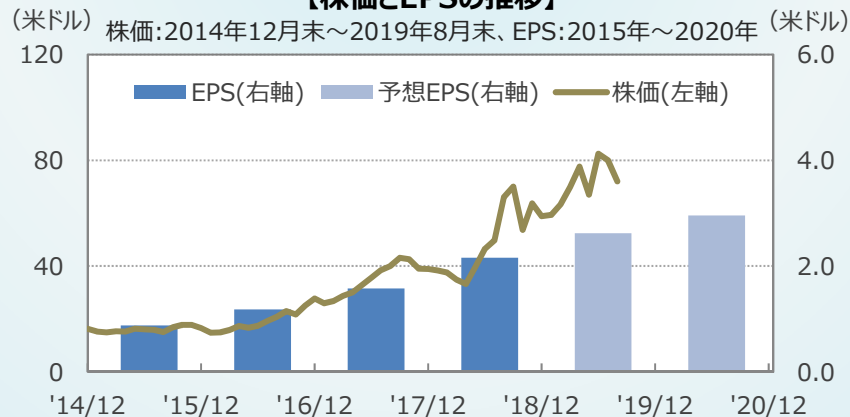
- マウンテンバイクや、オフロード車両向けの高性能サスペンションを設計・製造。
- 世界で、2,000社を超える企業と取引をしており高性能マウンテンバイクのリヤショックサスペンションでは50%以上のシェアを維持。



注目のポイント

- 同社のブランドは、著名なライダーやレーサーとのスポンサー契約を通じて数十年にわたり、育成されてきた。
- 高い性能に対するブランド認知と評判によって、持続的な競争上の地位を確保しており、結果、同社は高い市場シェア、価格設定力、堅実な収益性を享受している。

【株価とEPSの推移】

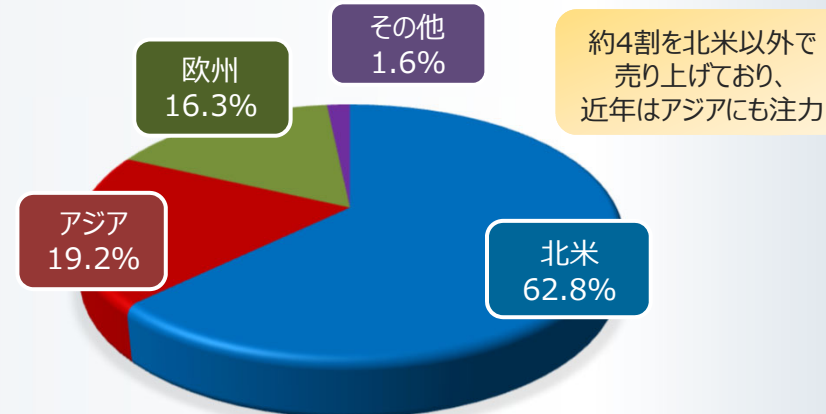


※2019年以降のEPSは2019年9月時点のブルームバーグ予想値

※業種は世界産業分類基準（GICS）によるものです。

地域別売上高

(2018年)



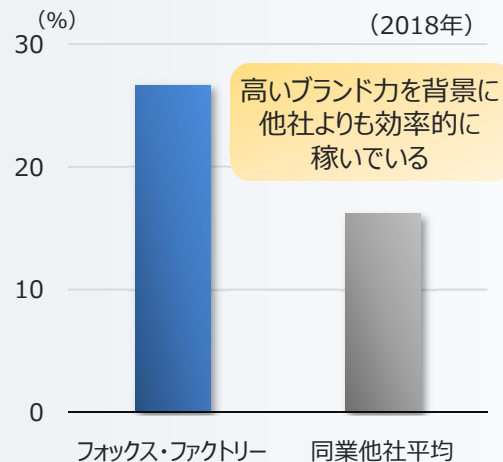
約4割を北米以外で売り上げており、近年はアジアにも注力

※四捨五入の関係で比率の合計が100%にならない場合があります。

各種指標の相対比較

【ROE（自己資本利益率）】

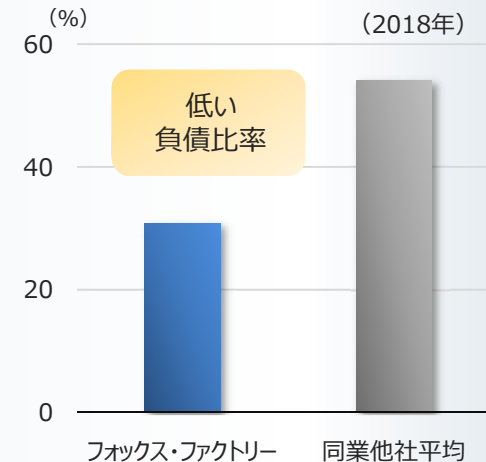
(2018年)



高いブランド力を背景に他社よりも効率的に稼いでいる

【総資産に対する負債比率】

(2018年)



低い負債比率

※「同業他社平均」は、GICS分類の産業グループで同グループ（自動車・自動車部品）に属する企業の平均値

(出所) ブルームバーグ、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

ハイクオリティ・ビジネス企業のご紹介②

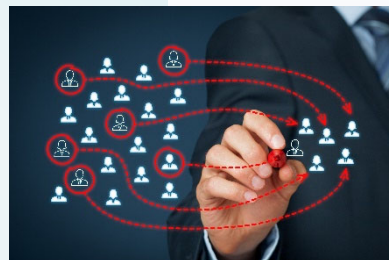


ペイコム・ソフトウェア

業種：情報技術

企業概要

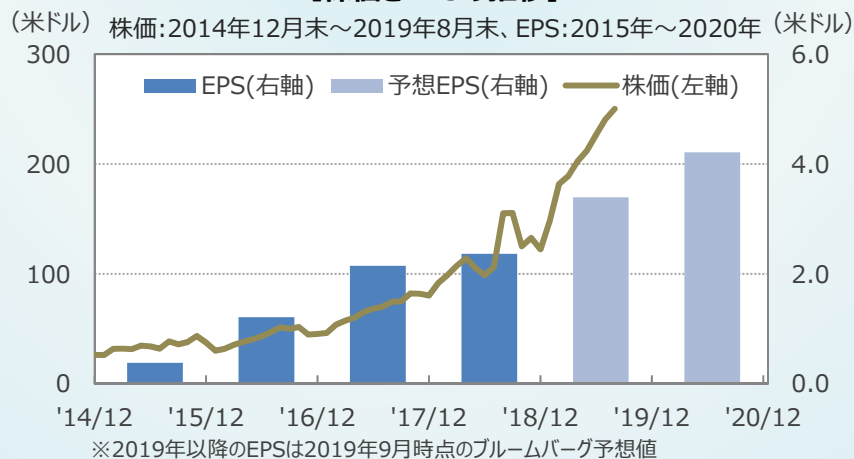
- クラウドベースの人材給与管理ソフトウェアのリーディング・カンパニー。
- 競合他社よりも幅広い分野の人事管理を、包括的にこなすことで他社との差別化を図っている。



注目のポイント

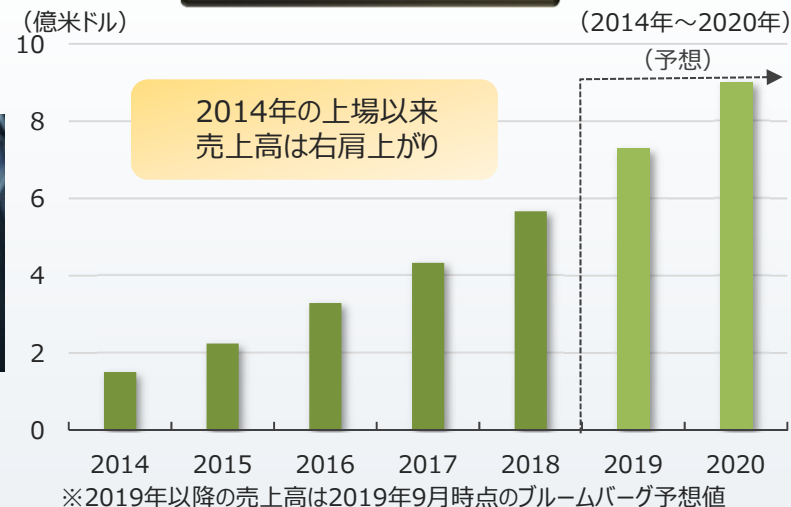
- アウトソーシングによるHR（人事・労務管理）技術という成長市場で安定経営を実現している会社。
- 同社は、他社製品との統合ではなく、記録システムの活用により単一のシステムに集約することによって、多くのユーザーを獲得。
- フォーチュン誌が選ぶ2019年の「高成長企業100」で第6位。

【株価とEPSの推移】



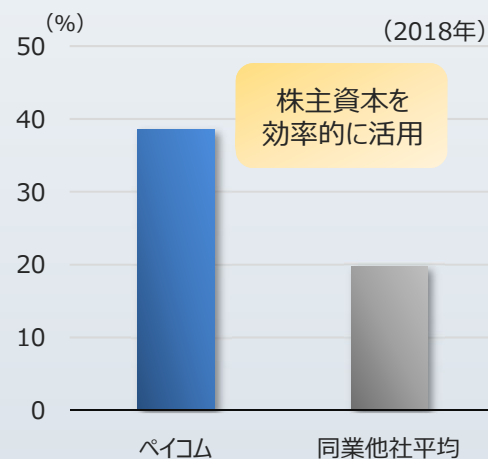
※業種は世界産業分類基準（GICS）によるものです。

売上高の推移

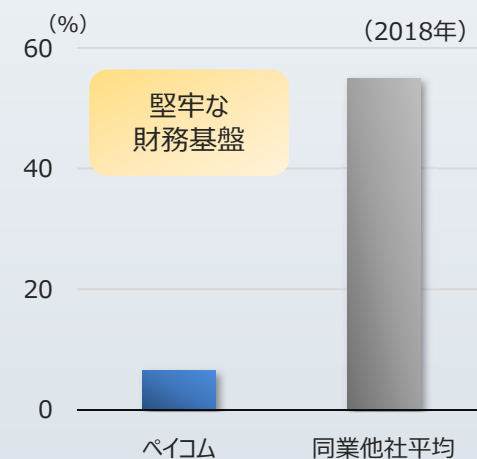


各種指標の相対比較

【ROE（自己資本利益率）】



【総資産に対する負債比率】



※「同業他社平均」は、GICS分類の産業グループで同グループ（ソフトウェア・サービス）に属する企業の平均値
 ※ペイコムの総資産に対する負債比率は顧客ファンド分にあたる資産・負債を除いて算出

（出所）ブルームバーグ、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

ケイン・アンダーソン・ラドニック社について



- ◆ ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントは、米ナスダック市場に上場するバークス・インベストメント・パートナーズ傘下の、米ロサンゼルスを本拠地とする資産運用会社です。
- ◆ 同社は1984年に設立され、米国小型株をはじめとする米国株式の運用に強みがあります。

ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントの概要

(2019年6月末時点)

設立	事業拠点	運用資産額	社員数	平均運用年数
1984年	9カ所	295億米ドル	91名	16年

ケイン・アンダーソン・ラドニック（KAR）社のルーツは、ロサンゼルスに億万長者**ジョン・アンダーソン（Anderson）**氏にあります。1984年にアンダーソン氏は、自らの資産の運用管理のために、**リチャード・ケイン（Kayne）**氏とともに同社を設立しました。その後、1989年に株式ポートフォリオの運用担当者として、**アラン・ラドニック（Rudnick）**氏が加わりました。同社の社名はこの創業時の人々に由来しています。

主な沿革

- 1984 会社設立
- 1998 米国小型株式の運用を開始
- 2005 バークス・インベストメント・パートナーズの傘下入り
- 2012 グローバル株式の運用を開始
- 2015 運用資産残高100億米ドル達成
- 2019 運用資産残高295億米ドル達成



※チームミーティングの様子



【運用チーム】

Citywire AAA獲得



Todd Bailey
PM兼シニアリサーチ・アナリスト
エネルギー、消費セクター



Jon K. Christensen
PM兼シニアリサーチ・アナリスト
ヘルスケアセクター

Citywireは、世界41カ国、15,000名以上のファンドマネージャーを評価対象としています。「AAA」を付与されるのは上位2.5%程度 of ファンドマネージャーのみとなっています。



Julie Kutasov
シニアリサーチ・アナリスト
素材、加工セクター



Chris Wright
シニアリサーチ・アナリスト
金融セクター



Craig Stone
シニアリサーチ・アナリスト
耐久財セクター



Julie Beil
リサーチ・アナリスト
テクノロジーセクター



Adam Xiao
リサーチ・アナリスト
生活必需品セクター

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

ケイン・アンダーソン・ラドニック社独自の銘柄厳選プロセス



- ◆ ビジネス・アナリストの視点で事業価値を分析し、持続的な利益成長が見込まれるハイクオリティ・ビジネス企業を発掘します。
- ◆ 運用の初期段階から運用担当者とアナリストが共同することで、独創的な投資アイデアの創出や、より深化した企業リサーチを行ないます。

ポートフォリオの構築プロセス

米 国 小 型 株 式 等

調 査 対 象 銘 柄
(約200銘柄)

投 資 候 補 銘 柄
(50~60銘柄)

ポ ー ト フ ォ リ オ
(20~35銘柄)

【投資対象】

米国に上場する企業の株式 (DR (預託証券) を含みます)
時価総額の目安は、投資開始時にラッセル米国2000種成長株指数採用銘柄の時価総額の範囲内

【定量的スクリーニング、業界分析等】

- ① 高い利益率の持続性を重視した定量的スクリーニング
(投下資本利益率、持続的な利益率、キャッシュフローなど)
- ② 定量的スクリーニングでは発見できない項目を調査
(マーケットシェア、価格交渉力、コスト競争力など)
- ③ 業界分析等、その他の情報源を活用したリサーチ

【徹底的なファンダメンタルズ分析】

- ✓ 開示資料、経営陣・競合他社・供給先・顧客などの面談等を通して、ハイクオリティ・ビジネス企業を選定。
- ✓ 調査対象銘柄に対して徹底的なファンダメンタルズ分析を行ない、企業の持つ競争優位性や経営陣の評価、資本効率等を考慮。

【バリュエーション評価、ポートフォリオ構築】

- ✓ ビジネスの潜在的な価値を算出。
- ✓ 業種分散や銘柄分散を考慮。

(出所) ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメント

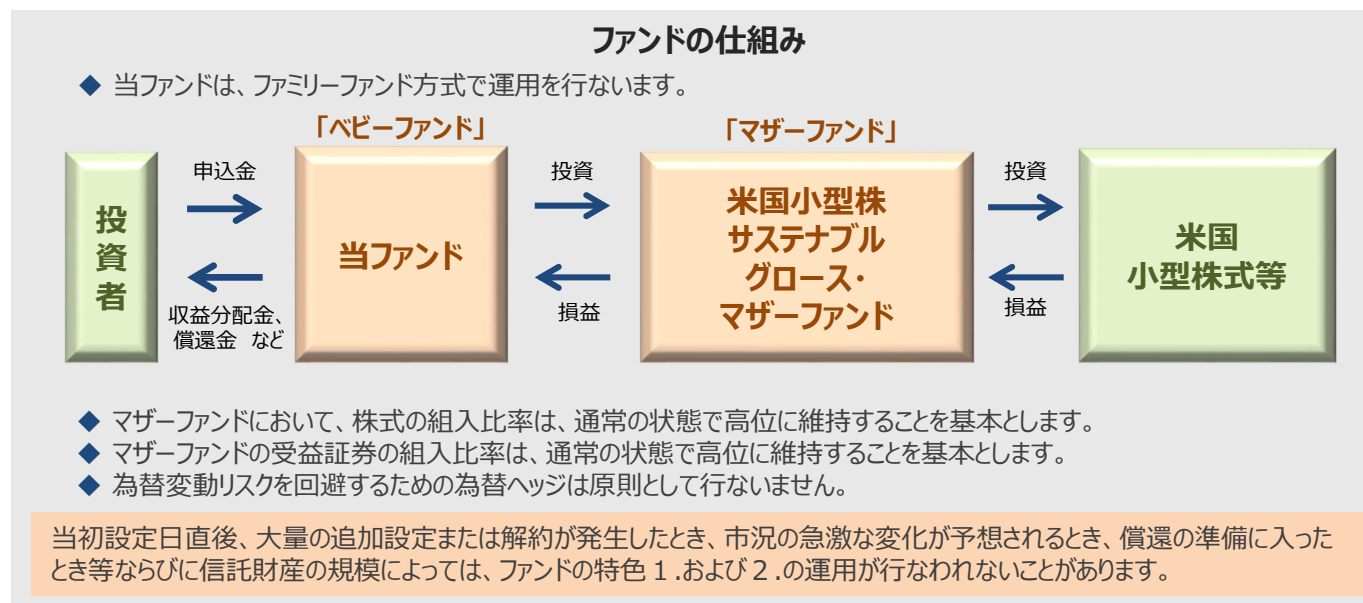
ファンドの特色



1 米国の小型株式等の中から競争優位性があり、高い利益率を長期にわたり維持できる企業を厳選し投資します。

(注1) 「米国の小型株式」とは、米国の金融商品取引所上場および店頭登録の株式のうち、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが、時価総額をもとに小型と判断した銘柄を指します。
※「株式」にはD R（預託証券）、「上場」には上場予定、「店頭登録」には店頭登録予定をそれぞれ含みます。
(注2) 一部、小型株式に該当しない銘柄に投資します。

2 米国の小型株式等の運用は、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントが行ないます。 外貨建資産の運用にあたっては、ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントに運用の指図にかかる権限を委託します。



3 毎年2月15日および8月15日（休業日の場合、翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

(注) 第1計算期間は、2020年2月15日（休業日の場合、翌営業日）までとします。

分配方針

- ◆ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます）等とします。
- ◆ 原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

投資リスク



基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

〈主な変動要因〉 ※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

株価の変動 〔 価格変動リスク・ 信用リスク 〕	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。 発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。 組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 中小型株式については、株式市場全体の動きと比較して株価が大きく変動するリスクがあり、当ファンドの基準価額に影響する可能性があります。 当ファンドは、一銘柄当たりの組入比率が高くなる場合があり、より多数の銘柄に分散投資した場合に比べて基準価額の変動が大きくなる可能性があります。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。 組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。 この場合、基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

リスクの管理体制

委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通じ、運用リスクの管理を行ないます。委託会社は、運用委託先とファンド運営上の諸方針を反映している運用委託契約に基づく投資ガイドラインを締結し、運用の状況、投資ガイドラインの遵守状況等をモニタリングします。

ファンドの費用(消費税率10%の場合)



※くわしくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

お客さまが直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 〈上限〉 <u>3.3% (税込)</u>	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	<u>年率1.958% (税込)</u>	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。
その他の費用・ 手数料	「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

お申込みメモ



購入単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定める単位				
購入価額	① 当初申込期間：1万口当たり1万円 ② 継続申込期間：購入申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）				
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当たり）				
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。				
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 （注）申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。				
申込締切時間	午後3時まで（販売会社所定の事務手続きが完了したもの）				
購入の申込期間	① 当初申込期間 2019年11月18日から2019年11月29日まで ② 継続申込期間 2019年12月2日から2020年11月10日まで （終了前に有価証券届出書を提出することにより更新されます。）				
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。				
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。				
信託期間	2029年8月15日まで（2019年12月2日当初設定） 受益者に有利であると認めたときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。				
繰上償還	● ケイン・アンダーソン・ラドニック・インベストメント・マネジメントと締結した運用指図権限の委託にかかる契約が終了した場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了（繰上償還）させます。 ● 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ● 受益権の口数が30億口を下回ることとなった場合 ● 信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ● やむを得ない事情が発生したとき				
決算日	毎年2月15日および8月15日（休業日の場合、翌営業日） （注）第1計算期間は、2020年2月15日（休業日の場合、翌営業日）までとします。				
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 （注）当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせください。				
信託金の限度額	1,000億円				
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 なお、当ファンドの非課税口座における取扱いは販売会社により異なる場合がありますので、くわしくは、販売会社にお問合わせください。 ※税法が改正された場合等には変更される場合があります。				
委託会社	大和証券投資信託委託株式会社	受託会社	野村信託銀行株式会社	販売会社	東海東京証券株式会社

当資料のお取り扱いにおけるご注意



- 当資料は大和証券投資信託委託株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料で掲載した画像等はイメージです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

当資料で使用した指数等について

- ・ 米国小型株：ラッセル米国2000種指数（米ドルベース、配当込み）
- ・ 米国株：S&P500種指数（米ドルベース、配当込み）
- ・ 世界株：MSCI オールカントリー ワールド インデックス（米ドルベース、配当込み）
- ・ 日本株：TOPIX（円ベース、配当込み）
- ・ 参考指数：ラッセル米国2000種成長株指数（米ドルベース、配当込み）

P.1のMorningstarレーティングに関する注意事項

ここに含まれる情報は、

- (1) Morningstarおよび/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、
- (2) 複写または配布してはならず
- (3) ライセンサーおよびMorningstarが提供する投資等の助言ではなく、
- (4) 正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。

Morningstarおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

Memo



大和投資信託

Daiwa Asset Management